

令和5年度
マイスター・ハイスクール事業
事業報告

新潟県立海洋高等学校

未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

令和5年度目標：事業効果検証と「マイスター・ハイスクール」の自走化

マイスター・ハイスクールビジョン

地域の課題

まち・ひと・しごと創生総合戦略
「農林水産業従事者所得の確保向上と
若者にとって魅力ある雇用の場の創
出」

第4次産業革命／地方創生時代

- ICT活用：業務の効率化
- DX：ビックデータ・ICT活用
に基づく収益性の高い経営
- 6次産業化：地域資源に付加価値を付与

カリキュラム・教育内容の刷新

1. 授業実習等におけるICT活用
2. 企業実習・専門家による6次産業化
学習支援と地域理解
3. 海洋高校アンテナショップ能水商店
におけるOMO

糸魚川の魅力や強みを理解し
ICT活用やDXに対応できる
活力ある地域産業を担う
海洋・水産プロフェッショナルの誕生！

【実施体制】

マイスター・ハイスクール運営委員会

- * マイスター・ハイスクールビジョン策定
- * 事業の意思決定、検証と改善

マイスター・ハイスクール事業推進委員会

- * 教育内容の検討・実施
- * 地域産業との連携推進

新潟県立海洋高等学校

連携機関

(株)能水商店
(有)SKフロンティア
上越漁業協同組合

ムービークリエイト レゴリス
能生内水面漁業協同組合
糸魚川信用組合 他

(株)能生町観光物産センター
(公財)マリンスポーツ財団

マイスター・ハイスクールCEO

株式会社能水商店 代表取締役 松本 将史

事業進捗管理、学校内外情報共有、外部
講師による講演・授業実習の調整、アン
テナショップにおける各種企画・広告宣
伝・販売実習の調整 等

産業実務家教員①

株式会社能生町観光物産センター
取締役本部長 清水 靖博

市内の観光イベントにおける生徒企画催
事の集客から実施・収支決算に至る支援、
マーケティング理論の実践支援 等

産業実務家教員②

株式会社能水商店
ゼネラルマネージャー 石田 寿文

食品科学コースにおける新商品開発支
援（試作・評価・成分分析・食品表示
作成・パッケージデザイン・製品規格
書作成）等

未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

令和5年度目標：事業効果検証と「マイスター・ハイスクール」の自走化

2・3年
水産業や
地域の課題を
解決する

水産資源科・資源育成コース

- ICTを活用したチョウザメ養殖の生産性向上
- アクアポニックスの生産量向上
- サケの発眼卵放流の継続と孵化後の経過観察



水産資源科・食品科学コース

- ICTを活用した品質管理のペーパーレス化
- 商品開発とそのマーケティング
- 海洋高校アンテナショップを基点としたOMO実践



海洋開発科・海洋技術コース

- 水産庁スマート水産業現場実装委員会の出前授業
- 漁獲物オンライン販売の継続と販売量向上
- 実習船オンライン授業の継続拡充



海洋開発科・海洋創造コース

- 弁天浜におけるマリンスポーツイベントの本格実施
- 水中ドローンによるもずく生育域マップの測量エリアの拡張



学校設定科目「地域探究」・水産科目「海洋情報技術」



地元金融機関による授業



世界シェアーク学習



マリンスポーツ体験



地元企業インターシップ



ビジコンを取り入れた授業



海洋情報技術検定受検

1年
ICT活用やDX、
水産業の6次産業
化と地域を学ぶ

全校
自己の生き方や
在り方を考える

ウェルビーイングの視点で生き方・在り方を考える「マイスター・ハイスクール進路講話」

様々な外部講師の生き方・在り方を学ぶ講話を通して、他者と良好な関係を築きながら自己の能力を十分に発揮し、幸福（ウェルビーイング）である状態を追求していくことについて考える。（毎学期実施）



事業効果検証

- 「学びみらいPASS」（河合塾）の活用
生徒の変容を「リテラシー」「コンピテンシー」で追跡する。
- 「マイスター・ハイスクール自己評価アンケート」の活用
生徒の変容を自己評価（個人内評価）で追跡する。

これまでに構築した「未来を担う
海洋・水産プロフェッショナル」人材育成
システムを今後も見直し、改良する。

令和5年度実績報告

実施内容(担当コースまたは係)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業実習におけるICT活用												
養殖実習におけるICT活用(FC)	栽培実習棟・SKフロンティア											
HACCP実習におけるICT活用(FP)	食科工場								食科工場			
乗船実習における共通教科オンライン学習(MT)		3MT					2MT					
水中ドローンによる測量(ME)		能生・藤崎海岸					地図作成					
地域理解と6次産業化・観光誘客												
学校設定科目「地域探求」の設置(カリキュラム)												
糸魚川信用組合まちづくり推進室出前授業(CEO)	2クラス対象講義									起業授業		ビジネスプランコンテスト
地域探究インターンシップ(進路)				1年生全員地元企業へ								
マリンスポーツ関連授業(水産)				集中実習			観光誘客ワークショップ					
糸魚川ジオパーク検定(資格)	指導計画						授業での指導		受験		不合格者指導計画	
鮭増殖事業の理解と水産加工実習(水産)									能生川築場・食科工場			
保安林の保護育成(MT)			権現岳山麓の植林・下草刈り									
糸魚川産チョウザメ・イトウの養殖(FC)	SKフロンティア											
アカムツ種苗生産(FC)					栽培実習棟							
持続可能な鮭増殖事業に関する研究(FC)									鮭捕獲			
アクアポニックス試験プラント運用(FC)	野菜栽培と観賞魚養殖									発眼卵放流		孵化率調査
「最後の一滴」関連商品の開発(FP)	能水商店											
マリンスポーツイベント企画運営(ME) マリンスポーツ財団支援		本番実施			プレイベント実施							
新潟海洋高校アンテナショップ能水商店におけるOMO												
実店舗運営とECサイト運営の連動(FP)	開発商品及び仕入商品で											
店舗及びECサイトへの宣伝誘客(FC/FP/MT)	各教育プログラム単位で											
漁師のD2Cビジネス(MT)								EC販売				
アクアポニックスで生産された野菜・観賞魚販売(FC)	管理・販売											
各種飲食イベントの実施(FC/FP)	(糸魚川産特産品、地魚、チョウザメ、イトウ、開発商品 etc)											
資格取得率の向上												
1年次ジオパーク検定指導(資格)								補習指導				
マリンマイスター増員管理(各コース・資格)	水産科・コースで指導											
市内及び関連産業就職率の向上												
学校設定科目内インターンシップ(進路)	受入企業開拓(通年)							実施				
マイスター・ハイスクール進路講話(進路)					第3回実施				第4回実施			第5回実施
広報活動												
MH事業の発信(広報)	(通年)											
各種イベントの告知・報告(広報)	(通年)											
成果報告会の企画運営(CEO/広報)											実施	
成果報告書の作成(CEO/広報)									成果報告書作成			
事業評価・カリキュラムマネジメント												
「学びみらいPASS」受検(CEO/カリキュラム)	全学年											3年のみ
「重点的に伸ばす3つの力」の評価と面談(CEO/カリキュラム)	(通年)											全学年
「MH事業自己評価アンケート」(CEO)	1年生											
運営委員会												
		第1回										第2回
推進委員会												
			第1回									第2回

マイスター・ハイスクール関連カリキュラム

学校設定科目：「地域探究」（1学年、全員） 2単位

【教育の視点】

探究の見方・考え方を働かせ、横断的総合的な学習をとおして地方創生に必要な知識や態度を身につけ、自己の在り方・生き方を考えながら課題を発見し解決する資質・能力を育成する。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

- ・糸魚川の自然や歴史、文化、産業等の現状と課題
- ・水産及び海洋関連産業の現状と課題等
- ・マリンスポーツの知識や技術

〔だれから学ぶか？〕

- ・教職員
- ・地元企業の社員や社会教育施設の職員、行政職員等
- ・金融機関の職員
- ・マリンスポーツ財団の職員

〔どのように深めるのか？〕

- ・ICT技術の活用、レポート・報告書の作成、インターンシップ企業におけるOJT等

【特徴】

- ・地元の企業等での授業・実習の実施、施設設備の利活用
- ・産業実務家教員による授業
- ・マイスター・ハイスクールCEOによる授業や科目全体のマネジメント

【期待できる効果】

地域と6次産業化の理解、アントレプレナーシップの涵養



地元金融機関による授業



フォッサマグナミュージアム見学と巡検



地元企業インターンシップ



マリンスポーツ実習



令和4年度 校内ビジネスプランコンテスト「地域クラウド交流会 in 海洋高校」

令和5年度校内ビジネスプランコンテスト 「地域クラウド交流会 in 海洋高校」

と き：令和6年2月22日（木）
13時05分～16時10分

ところ：本校第一体育館

参加者：生徒、教員、MH事業関係者、
一般市民



昨年度の優勝チームは今年度ビジネスプラン
を実行し、卒業後も事業として地域振興に
関わり続けられることを実証した。

水産科目：「海洋情報技術」（1学年、全員） 2単位

【教育の視点】

情報技術の体系的・系統的な理解と関連する技術を身につける。情報技術の主体的な活用を目指し、水産業や水産関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

- ・水産や海洋における情報技術
- ・コンピューターとプログラミング
- ・水産や海洋における情報技術の応用
- ・水産や海洋における情報コミュニケーションと情報デザイン
- ・情報通信ネットワークとデータの利用

〔だれから学ぶか？〕

- ・教職員

〔どのように深めるのか？〕

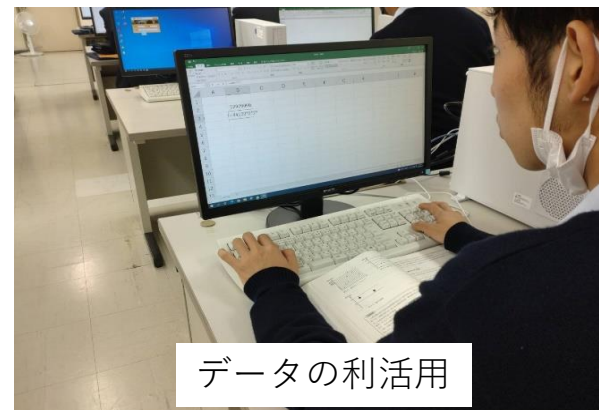
- ・コンピューター等を利用した演習等
- ・学習プリントや課題等

【特徴】

- ・コンピューターを利用した演習
- ・授業中の発言、発表や討議する機会の設定

【期待できる効果】

ICT活用能力育成



水産科目：「総合実習」（2、3学年、全員）2～4単位/年間

【教育の視点】

水産の見方・考え方を働かせ、産業現場に近い実践的な学習活動を通じて、水産業や海洋関連産業において必要となる専門性の高い資質・能力を養う。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

各科コースによって異なる。

- （水産資源科・資源育成コース）ヒラメの稚魚生産、アカムツの種苗生産、
チョウザメ・イトウの養殖管理、マコンブ養殖 等
- （水産資源科・食品科学コース）さば水煮缶詰、さば味噌煮缶詰、スモークサーモン製造実習
かまぼこ、新巻鮭の製造、食品技能検定、HACCP検定 等
- （海洋開発科・海洋技術コース）小型船舶に関する操船実習、海図の読み取り、イカ釣り
漁場実習、海技免許講習、救命講習、英語講習 等
- （海洋開発科・海洋創造コース）測量、スキンドайビング・スクーバダイビング実習、
アーク溶接・ガス溶接、石均し、水上・水中測量 等

〔だれから学ぶか？〕

・教職員、産業実務家教員、マイスター・ハイスクールCEO、地元企業の社員等

〔どのように深めるのか？〕

・実験や実習などの体験活動、レポート作成、発表会等でのプレゼンテーション、ICTの活用等

【特 徴】

実験・実習を取り入れた理論の定着、知識・技術の総合的な習得

【期待できる効果】

実践を通じた専門性の伸長、ICTの活用、専門分野の資格取得

水産科目：「課題研究」（2、3学年、全員）2～3単位/年間

【教育の視点】

水産の見方・考え方を働かせ、水産業や海洋関連産業、地域課題の解決を図るための具体的な学習活動を通じて、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。

【学習内容】

〔何を学ぶか？〕

- ・水産や海洋における知識・技術
- ・水産や海洋に関する課題とその解決策
- ・課題を解決する力、水産業や海洋関連産業の振興、地域課題に主体的かつ協働的に取り組む態度

〔だれから学ぶか？〕

- ・教職員、産業実務家教員、マイスター・ハイスクールCEO、地元企業の社員等

〔どのように深めるのか？〕

- ・調査、研究、実験、報告書・レポート作成、成果発表
- ・商品・サービスの開発、イベント運営
- ・産業現場等における実習
- ・職業資格の取得

【特徴】

- ・生徒の興味・関心、進路希望に応じた課題の設定
- ・個人又はグループで、主体的かつ協働的な取組
- ・専門的な知識や技術の深化・統合した課題解決型の学習

【期待できる効果】

実践を通じた専門性の伸長、ICTの活用、専門分野の資格取得

令和5年度の改善点

〔ICT活用〕

効率的な仕事や新しい価値を生み出す方法に活用する。

→ ICTを活用する機会を多くつくり、それがどのように役に立ったのかを、クラス・全校で共有する（全校ポスターセッション等）。



Google formsによる消費者アンケート回収



科目「課題研究」におけるクラス内での中間発表会

水温データロガーの情報を受信し、授業の度に精算温度を可視化しサケの成長を予測



〔 地域理解と6次産業化、観光誘客 〕

糸魚川市の水産業や海洋関連産業を知り、観光顧客を呼び込む。

➔ 1年次科目「地域探究」を基礎に、2・3年次にもそれぞれのコースで地域理解につながる学習を続ける。生徒が能動的に広告・SNS・パブリシティ等に取り組む機会をつくる。

海洋高等学校 × うみがたりカーフェス2023

うみがたりカーフェス2023

海洋高校の生徒による！
アクアポニックスレクチャー

近年注目されている農法「アクアポニックス」についての解説や、うみがたりとの共同実施の成果、海洋高校での取り組みについて生徒のみなさんから発表していただきます！

11月23日(木・祝)~25日(土)
①11:00 ②14:00
3F イルカスタジアム
(荒天時は1F 健康ホール)

同時配信サイト

対象年齢:中学生以上
参加費:300円(保険料)
当日現金で受付してください

決定!

かじきだソイ、食ベナイ!

アンテナショップ能水商店
~10月15日(日)

アンテナショップで10月12日(木)実習の様子を私たちがプレゼンテーションはYouTubeで同時配信をさせていただきます!店舗まで来られない

イン販売はありません。当科学コースの授業で行いました。途中であっても販売を終了しました。

カジキ相漬りIP (150g) 500円(税込)
冷凍品・賞味期限2ヶ月

日時: 10月12日(木)~10月15日(日)
場所: 新潟海洋高校アンテナショップ能水商店
道の駅「777」1-1内 営業時間: 9~17時 TEL:025-555-7343

10月12日(木)14時30分~50分 オープンイベントとして私たちが店舗で漁業実習の様子をプレゼンテーションをします。イベントの様子はYouTubeで同時配信します!

検索 新潟海洋 マリンスポーツフェスティバル

主催:新潟県立海洋高等学校 新潟県糸魚川市大字能生3040番地 TEL:025-566-3155
web:https://www.nousur-shop.com



海洋高校スペシャルサイト「航海日誌」や海洋高校のInstagram・facebookへ投稿するときは、電子黒板のミラーリング機能を使用して担当生徒の作業を全員で共有する。

生徒が「Canva」で制作したリーフレット

〔 アンテナショップの活用 〕

顧客体験を向上させるためのICTを活用する。

→ ICTを活用して、顧客体験を向上させる機会を多くつくる。また、実践した取組がよりよい顧客体験につながっていくことを理解するための振り返りの場面を確保する。

マグロ延縄の漁法

1、釣り針の付いた多数の縄（枝縄）を1本の長い縄（幹縄）に取り付け一定の水深に敷設する漁法。

2、餌：ムロアジ

延縄 浮き延縄(マグロ漁)

浮子
浮標縄
幹縄
枝縄
餌

まぐる・かじき大集合だソイ！おまんた食ベナイ！
限定公開

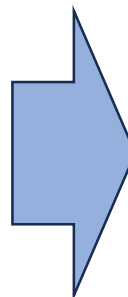
新潟県立海洋高等学校
チャンネル登録者数 560人

チャンネル登録

5 共有 保存

新潟県立海洋高等学校
文部科学省指定研究事業
マイスター・ハイスクール
販売実習ページ

販売商品はこちらから ▶



年月日	注文数	注文金額	件数	合計
2022/08/01	15件	61,363円	0件	0件
2022/08/02	6件	26,215円	0件	0件
2022/08/03	3件	12,364円	0件	0件
2022/08/04	4件			
2022/08/05	0件			
2022/08/06	3件			
2022/08/07	2件			
2022/08/08	3件			
2022/08/09	4件			
2022/08/10	0件			
2022/08/11	1件			
2022/08/12	1件			
2022/08/13	3件			
2022/08/14	0件			
2022/08/15	3件			
2022/08/16	3件			
2022/08/17	0件			
2022/08/18	0件			

実店舗での来店顧客に対するマグロ販売イベントをYouTubeで同時配信して、来店できなくてもオンラインショップで購入できる環境を提供。

オンラインショップの管理画面で購入内容や購入者コメントを共有。生徒が制作し商品に同梱した礼状の効果を実感。

令和5年度の取組におけるトピックス

上越市水族博物館「うみがたり」との連携事業



新潟県立 海洋高等学校 × 上越市立水族博物館 うみがたり JOETSU AQUARIUM

うみがたりガーデン 2023

9月23日(土・祝)～11月26日(日)
1F フィーディングプール

新潟県立海洋高校と「うみがたり」が共同し、ニシキゴイを飼育しているフィーディングプールを利用したアクアポニックスを体験します。

昨年よりも規模を拡大し、今年はリーフレクスと小松菜の栽培に挑戦します。また、苗の植え付けや飼育生物への給餌も海洋高校の生徒たちと共におこないます。さらに、コラボメニューも販売！学生によるアクアポニックスの解説や成果発表もお見逃しなく！

アクアポニックスの仕組み

アクアポニックスでは魚の排泄物を微生物が分解し、植物はそれらを栄養として吸収し、成長します。このシステムは、水を捨てない、換えい、そして農薬と化学肥料も必要としない、サステナブルな農法です。

植物が栄養を吸収し、水がろ過される。魚が餌を食べて排泄物を出す。細菌が排泄物を分解し、植物の栄養に変える。

研究発表 お魚が育てる野菜！？アクアポニックスについて
海洋高校の生徒によるアクアポニックスの解説や成果を発表します。
11月23日(木・祝)・25日(土)
①11:00 ②14:00 3F イルカスタジアム
(売場時は1F 催事場へ)

コラボメニュー
お魚が育てたバジルのマルガリータピザ 1,200円(税込)
1F レストラン
レストランテ ロス クエントス
デル マールにて限定販売

海洋高校開発の商品を販売！
1F ミュージアムショップ
レガロにて販売



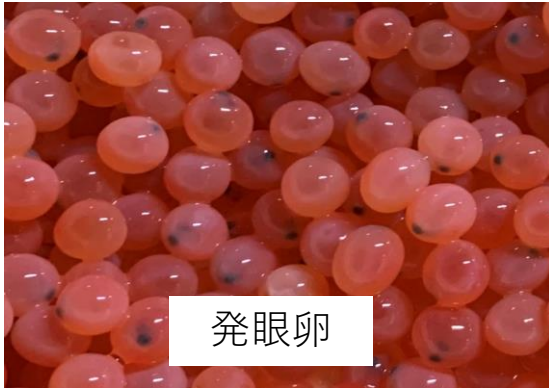
アクアポニックス企画展を9～11月に実施。館内レストランや土産店でも、開発メニューや開発商品の販売を同時展開していただいた。

令和5年度 第28回新潟県環境賞 大賞（地域創り部門）受賞



「最後の一滴」の製造販売事業の基盤となるサケの資源保護に関わる長年の環境教育が評価された。

発眼卵放流を海洋高校生が企画する市民参加型のイベントに



発眼卵



放流の様子



令和4・5年と継続して
毎年20万粒以上を放流

糸魚川のサケ資源を守ろう！ 「発眼卵放流」体験会

新潟県立海洋高等学校・資源育成コースでは「課題研究」の一環として、能生内水面漁業協同組合の協力の下、「持続可能なサケ増殖事業に関する調査研究」を開始し、発眼卵放流の実用化に向けた取り組みを行っています。

なぜ発眼卵放流？

発眼卵放流とはその名のとおり、卵の内側に目が確認できる「発眼卵」の状態を川底に埋めて放流する方法です。
従来の稚魚放流(3月中に実施)よりも3ヶ月早い、12月中に河床に発眼卵を埋設して放流するため、ふ化場での餌代や人件費などのコストが削減でき、経営改善の一助となります。さらに自然の環境で育った健全な稚魚となり、高い回帰率になることが期待されています。

令和5年 12/19(火) または 12/25(月)

※1日のおのみ参加可
※荒天の場合は中止
となる場合があります

体験会の概要&タイムスケジュール

場所：西能生地区公民館

13:00～ 開会式

13:10～ 研究概要の発表

13:30～ 発眼卵放流体験 場所：能生川支流・白鳥川

※長靴を履いて川に入り、発眼卵を川底に埋めます ※長靴はお貸しします

15:30～ サケ鍋のふるまい 場所：西能生地区公民館

16:00～ 閉会式

集合場所：西能生地区公民館
糸魚川市大字桂490-1

持ち物：タオル 着替え 飲み物 防寒着 軍手

参加対象：中学生以上 ※定員30名(各日)

参加費用：500円(保険料)

お申込みはこちらのQRコードから
(申込締切は各日の1週間前まで)



お問い合わせ先：新潟県立海洋高等学校 TEL：025-566-3155

主催 能生内水面漁業協同組合
協力 新潟県立海洋高等学校



開発された商品



鮭魚醬「最後の一滴」と甘えび魚醬「甘えび醤油」をベースにしたスープが特徴のご当地ラーメン



新潟固有乳酸菌を使用した、柔らかい酸味と新潟の物語性を持つ「佐渡荒海サーモン柿の葉寿司」



鮭魚醬「最後の一滴」と鶏ガラの旨みをベースにしたストレートタイプ鍋つゆ



人気商品のブランド化を更に高める目的で姉妹品開発して生まれた「韓国風ごっつあん海苔」

全校生徒で学ぶ・発信する

マイスター・ハイスクール進路講演会



第3回 マイスター・ハイスクール進路講話

「海藻で海も人もすこやかに」

講師： 合同会社シーベジタブル 共同代表 蜂谷 潤 様

私たちを取り巻く海が環境が近年激変しています。温暖化を引き金に海を支える海藻類は激減し、海の生産力が低下して食文化も衰退しています。

これらを防ぐための私たちの取り組みをご紹介します。



と き： 令和5年7月5日(水) 5・6限

と ころ： 第一体育館

振り返り： 右のQRコードから講演会を通して知った事・感じた事・深まった考え等を記入してください。



第3回校内ポスター



講演後も講師と意見交換

<感想の例>

- “人は喜びをえるために生きている”を求めて相手も自分もよい結果を得られるような生き方ができれば良いと思いました。
- 良い目標を共有できる仲間をつくる、ことがとても大切だと思いました。人には強み弱みがあるので、それぞれが能力を補いながら良い仕事をしていけたらと思いました。

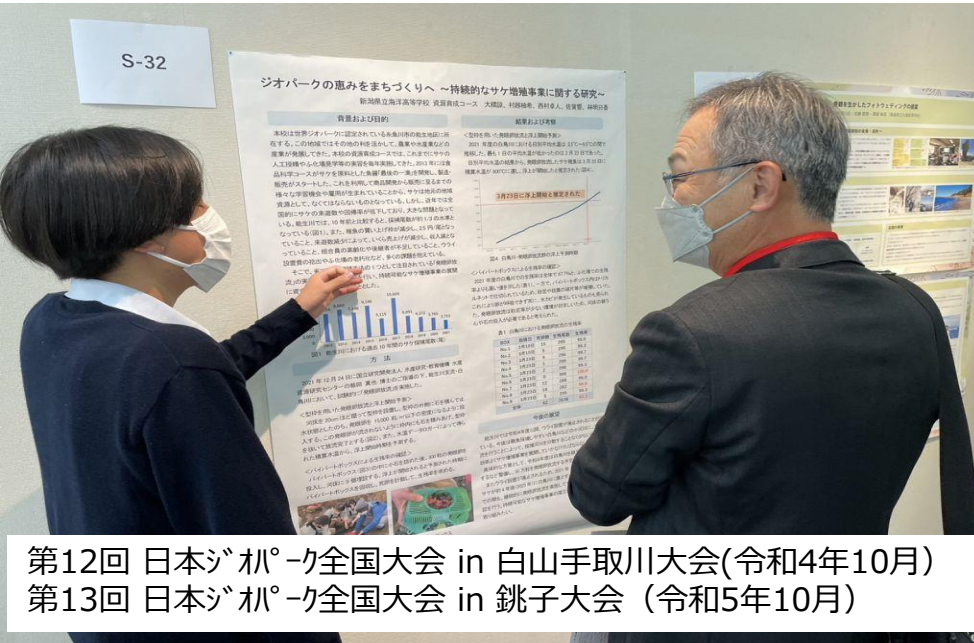
最終回は令和6年3月18日
えちごトキめき鉄道(株)鳥塚社長様
を講師として招聘します。



ポスター発表月間（10月）



全国産業教育フェア（10月）



第12回 日本ジギョウ全国大会 in 白山手取川大会 (令和4年10月)
第13回 日本ジギョウ全国大会 in 銚子大会 (令和5年10月)



にいがた環境フェスティバル（12月）

探究学習教員研修会



事業の自立的発展のためには
探究学習を伴走支援する教員の
資質・能力の向上が必要

教員同士が探究活動での課題や成功事例を共有したり助言したりし合える学校文化づくりを目指す。

本事業による生徒の資質・能力の向上

未来を担う

海洋・水産プロフェッショナル

考える力（リテラシー）
行動する力（コンピテンシー）

海洋・水産に関する専門性
糸魚川の地域資源の理解

「重点的に伸ばす3つの力」
協働力 / 行動力 / 自己管理能力

成長の測定

学びみらいPASS

資格取得率

マイスター・ハイスクール
自己評価アンケート

ルーブリックによる
各教科・科目教諭からの
評価と自己評価

「重点的に伸ばす3つの力」ルーブリック評価

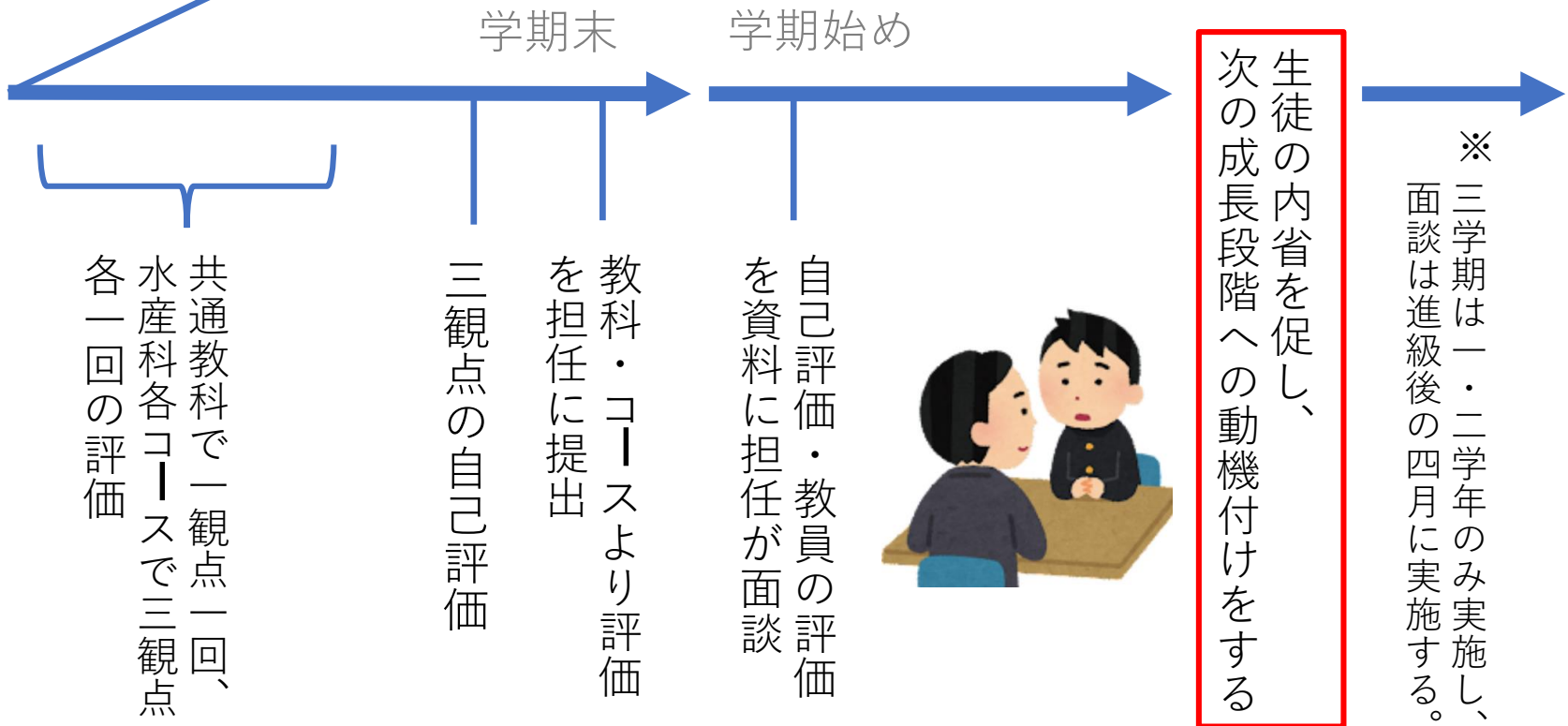
	A	B	C
協働力	協働する意味を理解し、リーダーシップのもと、自分と他者の意見や少数意見を活かしてより良い考え方を導き出し、協働して活動できる。	協働する意味を理解し、自分と他者の意見の共通性や相違点に気づき、整理するとともに協力して活動できる。	協働する意味を理解し、自分の意見を表現できる。
行動力	目的を理解して計画を立案・実施し、内容を評価して改善するための行動ができる。	目的を理解して、計画を立てて実施することができる。	目的を理解して、自分に課せられたことをやり遂げることができる。
自己管理能力	基本的な生活習慣を身に付けていて、自己実現に向けて自分を律することができる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の立場を理解し、感情や行動を制御できる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の感情や行動を制御できる。



	A	B	C
協働力	協働する意味を理解し、リーダーシップのもと、自分と他者の意見や少数意見を活かしてより良い考え方を導き出し、協働して活動できる。	協働する意味を理解し、自分と他者の意見の共通性や相違点に気づき、整理するとともに協力して活動できる。	協働する意味を理解し、自分の意見を表現できる。
行動力	目的を理解して計画を立案・実施し、内容を評価して改善するための行動ができる。	目的を理解して、計画を立てて実施することができる。	目的を理解して、自分に課せられたことをやり遂げることができる。
自己管理能力	基本的な生活習慣を身に付けていて、自己実現に向けて自分を律することができる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の立場を理解し、感情や行動を制御できる。	基本的な生活習慣を身に付けていて、自分の感情や行動を制御できる。



到達すべき目標を生徒・教員で共有する



「重点的に伸ばす3つの力」 教員評価と自己評価の結果（一部）

※ ルーブリックの Aを3・Bを2・Cを1 として換算して各学年の平均値を評点とした。

入学年度	評価年度・学期	教員評価				自己評価				差異（自己評価－教員評価）			
		協働力	行動力	自己管理力	平均	協働力	行動力	自己管理力	平均	協働力	行動力	自己管理力	平均
令和5年	令和5年1学期（1年次）	2.03	2.02	2.15	2.07	2.00	1.93	2.05	2.00	-0.03	-0.08	-0.09	-0.07
令和4年	令和4年1学期（1年次）	2.23	2.06	2.10	2.13	1.89	1.76	2.07	1.90	-0.34	-0.30	-0.03	-0.23
	令和5年1学期（2年次）	2.02	1.93	2.06	2.01	2.08	1.92	2.06	2.02	0.05	-0.01	0.00	0.01
令和3年	令和4年1学期（2年次）	2.09	2.13	2.08	2.10	1.71	1.67	1.83	1.74	-0.38	-0.46	-0.26	-0.37
	令和5年1学期（3年次）	2.08	2.04	2.10	2.08	2.22	2.08	2.10	2.13	0.13	0.04	0.00	0.06
令和2年	令和4年1学期（3年次）	2.15	2.10	2.14	2.13	1.84	1.65	1.75	1.75	-0.31	-0.45	-0.40	-0.39
平均	令和4年1学期	2.16	2.10	2.11	2.12	1.81	1.69	1.88	1.79	-0.35	-0.41	-0.23	-0.33
	令和5年1学期	2.05	2.00	2.10	2.05	2.10	1.98	2.07	2.05	0.05	-0.02	-0.03	0.00

○ 令和4年度と令和5年度入学生の自己評価が伸びている。 ※ 比較ができる2つの学年

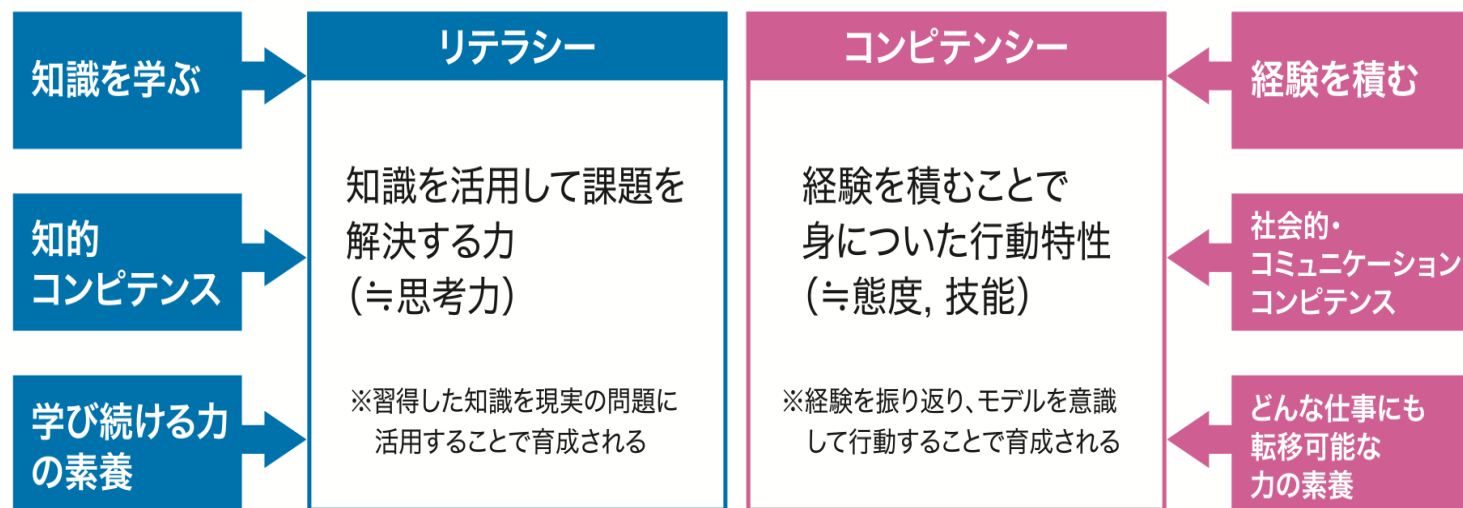
→ 本校の教育活動による成長を実感している。

○ 生徒と担任間の面談が回を重ねるにつれ、自己評価と教員評価の間の差異が小さくなった。

→ ルーブリックに基づいて自己の発達段階を客観視できるようになった。

「学びみらいPASS」による

リテラシーとコンピテンシーの評価



出典：河合塾 学びみらいPASSパンフレット

リテラシー

- ① 情報収集力
- ② 情報分析力
- ③ 課題発見力
- ④ 構想力

コンピテンシー

対人基礎力

- ① 親和力
- ② 協働力
- ③ 統率力

対自己基礎力

- ④ 感情制御力
- ⑤ 自信創出力
- ⑥ 行動持続力

対課題基礎力

- ⑦ 課題発見力
- ⑧ 計画立案力
- ⑨ 実践力

問題のサンプル

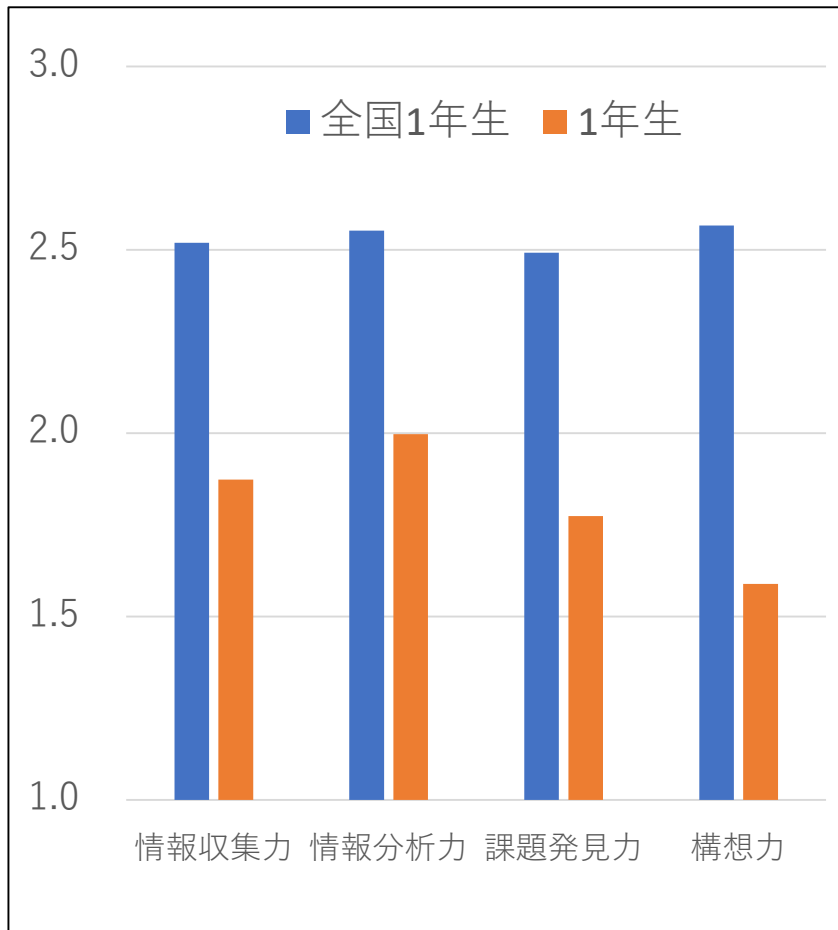
Aさんは町内会の行事で使用するミネラルウォーターを手配する担当になった。インターネットで購入しようと思い調べた結果、人気の3社は下表のとおりであった。この表から読み取れる内容として最も適当なものを、後の1～5の中から1つ選べ。

	X社	Y社	Z社
商品	500ml×24本（1ケース）	500ml×24本（1ケース）	500ml×48本（2ケース）
値段	1,300円（税込）	1,300円（税込）	2,400円（税込）
送料	300円（ただし、2,000円以上の購入で無料）	無料（ただし、2,000円以下の購入は300円）	200円（ただし、2,000円以上の購入で無料）

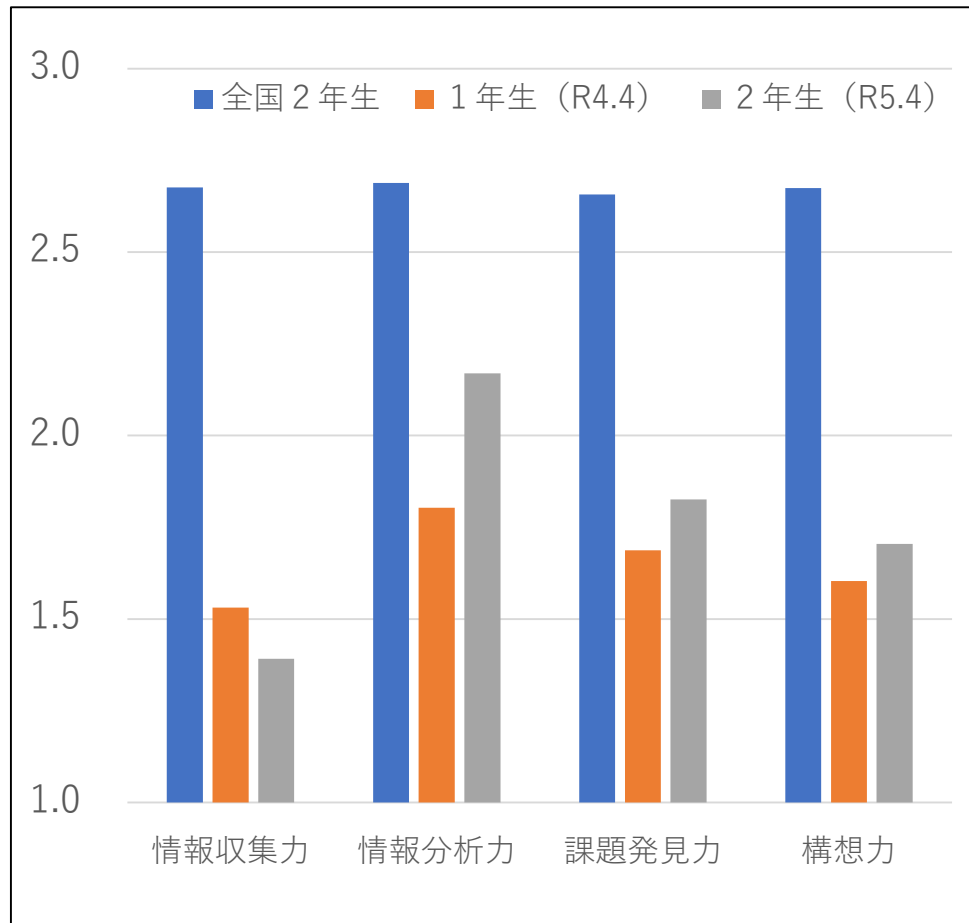
1. X社は送料が最も高いので他の2社と比べるとお得ではない。
2. 1ケース購入ならX社よりもY社で買うほうがお得である。
3. Y社は1ケースだと送料がかかってしまうので2ケース購入すれば一番お得である。
4. 2ケース購入するならどこで買っても同じである。
5. Z社は2ケース購入しかできないが最もお得である。

No.	A	Aのほうがよくあてはまる どちらかといえ Bのほうがあてはまる どちらかといえ Aのほうがあてはまる				B
1	自分と違う意見を聞くと、どうしてそう思うのか興味がわく	1	2	3	4	自分と違う意見を聞くと、自分の意見を主張して反論したくなる
2	物事を決めるときにはアイデアや意見を皆で出し合うことが多い	1	2	3	4	物事を決めるときには一人で考えを深めることが多い
3	自分の考えが理解されるまで、ねばり強く何度も意見を主張する	1	2	3	4	自分の考えが理解されないときは、無理をせず周囲の雰囲気に従う
4	話し合いでは自分の意見を主張することが多い	1	2	3	4	話し合いでは皆がどんな意見なのか聞いていることが多い
5	自分の気持ちや感情を包み隠さず人に伝える	1	2	3	4	自分の気持ちや感情を相手に合わせて考えながら表現する
6	失敗したときのことよりも、うまくいくことを信じて思い切ってやってみる	1	2	3	4	時間をかけて失敗しないように準備をしてから物事に取りかかる
7	初めてのことであっても、自分で手順を考えながら取り組みたい	1	2	3	4	初めて何かに取り組むときは、方法や手順を事前に十分検討したうえで取り組みたい
8	気になることがあれば普段からいろいろと調べてみるほうだ	1	2	3	4	ちょっと気になることがあってもわざわざ調べてみたりしないほうだ
9	はっきりした目標を立ててから課題に取り組むことが多い	1	2	3	4	あまり明確な目標は立てず、状況に応じて行動することが多い
10	失敗したときは、どこに問題があったのかふり返ったり反省したりする	1	2	3	4	失敗の原因をふり返ったり反省したりするよりも、次のことに目を向ける

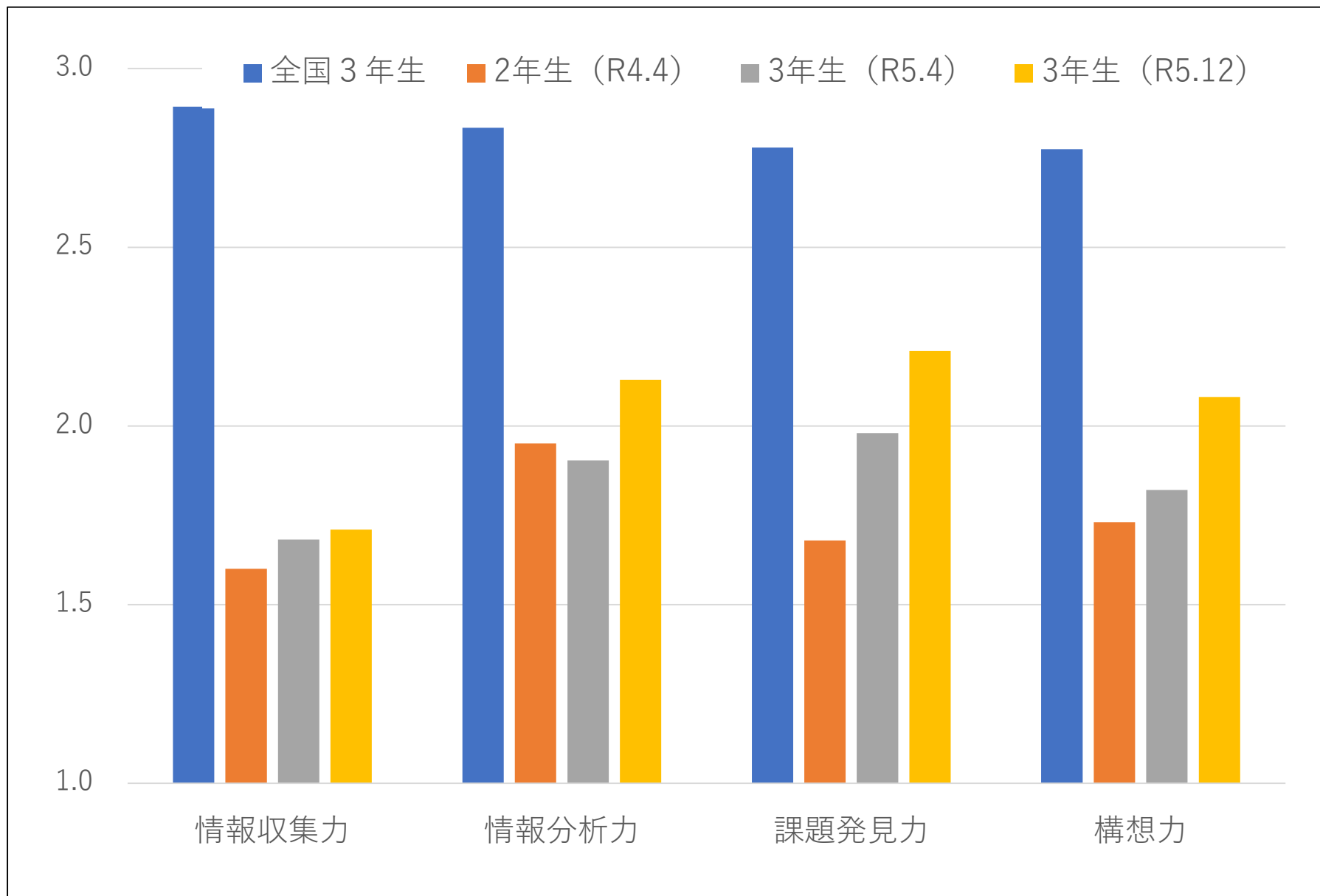
令和5年度「学びみらいPASS」結果



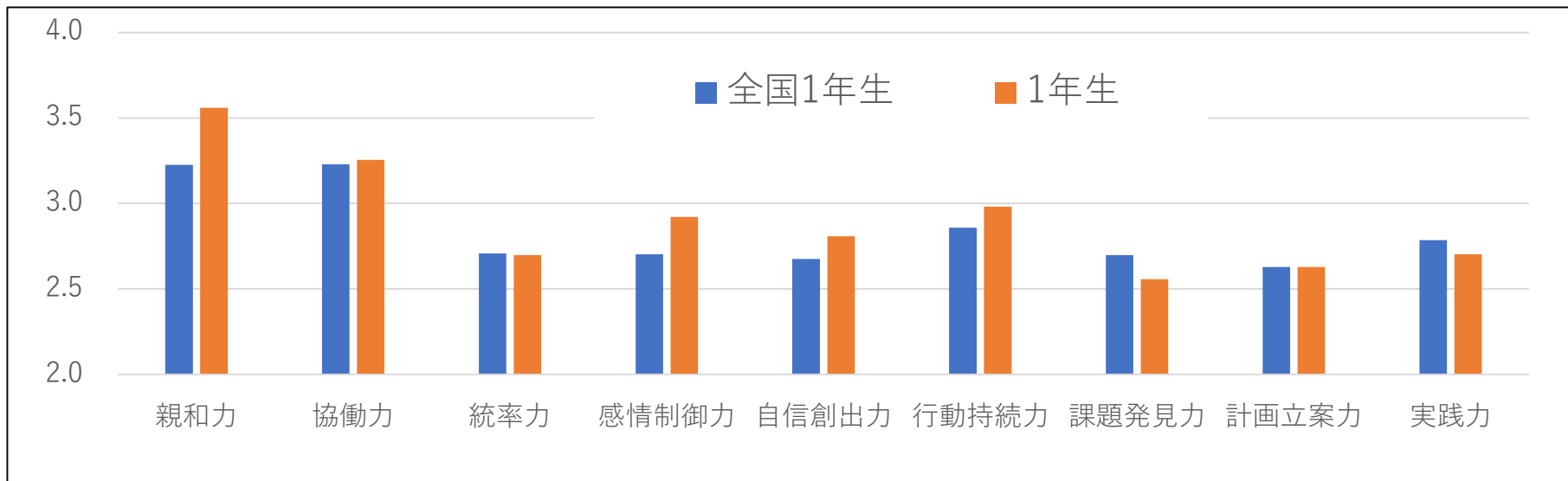
1年生のリテラシー（R5年4月）



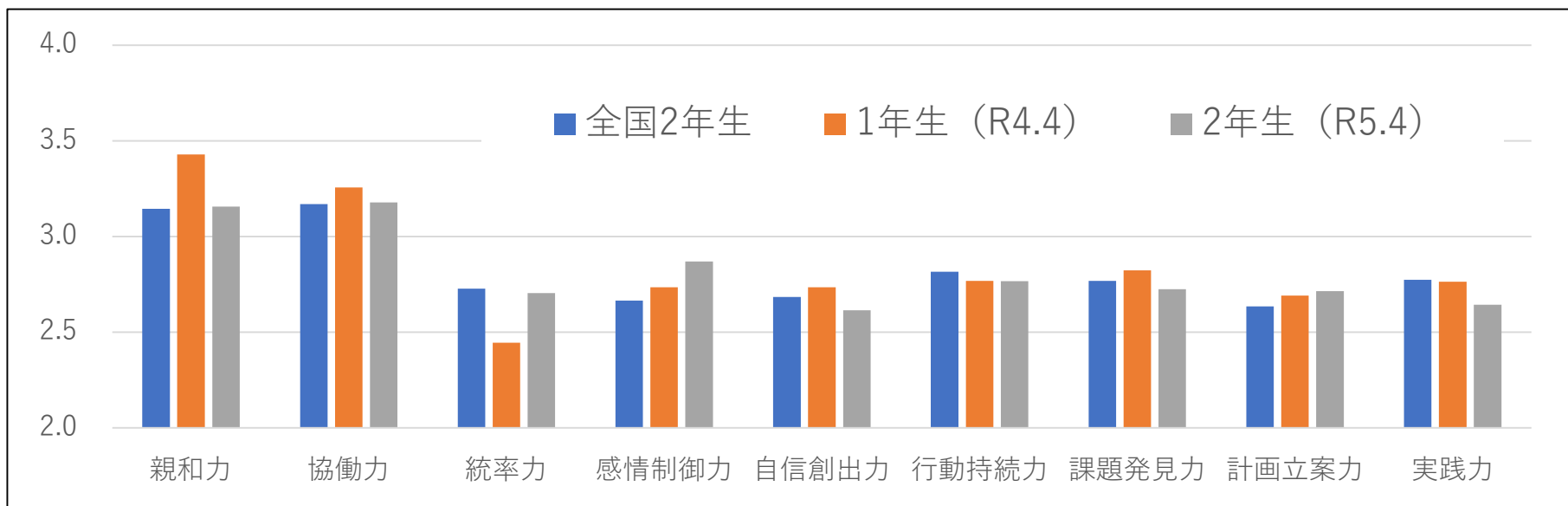
2年生のリテラシー（R4年4月・R5年4月）



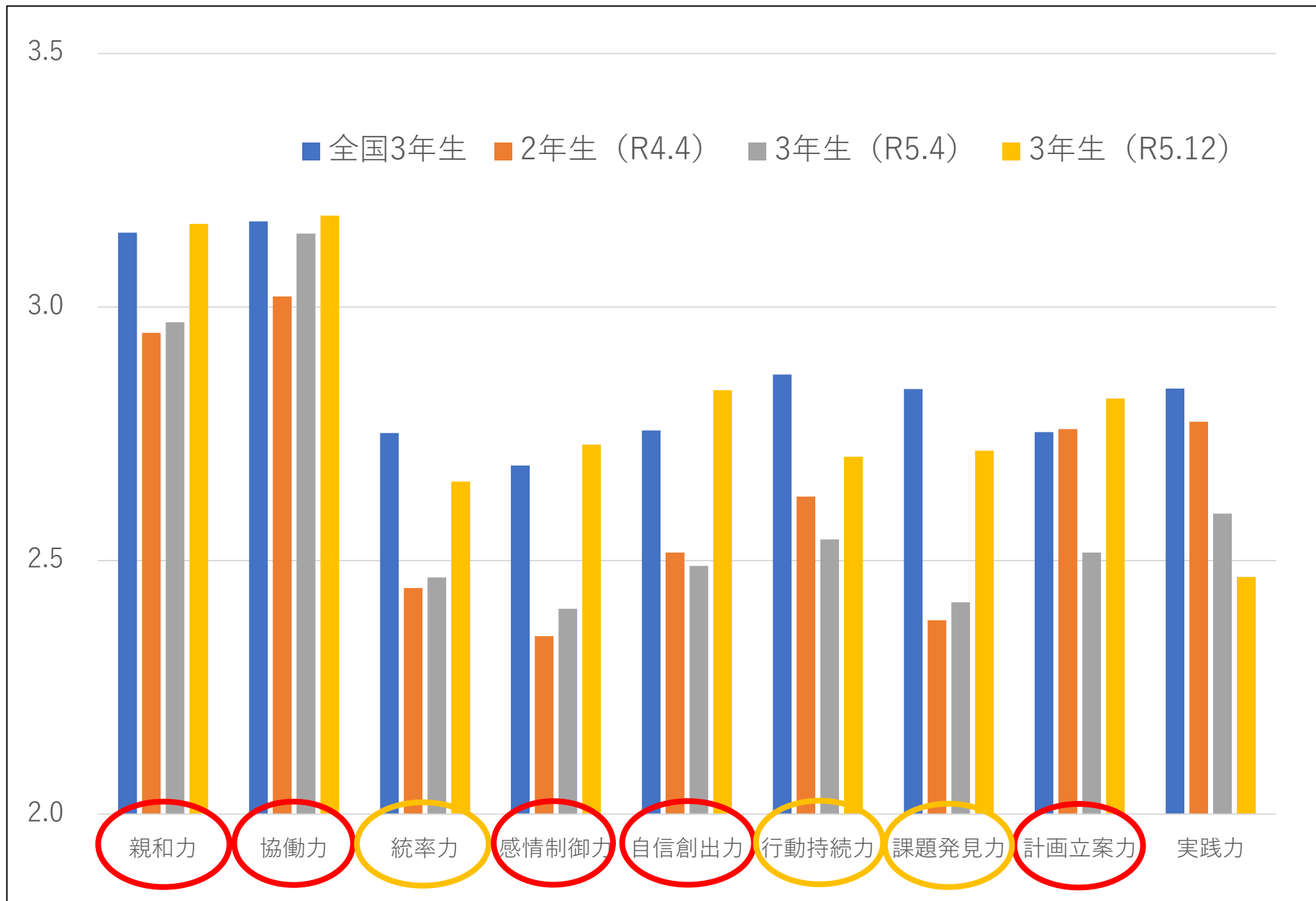
3年生のリテラシー (R4年4月・R5年4月・R5年12月)



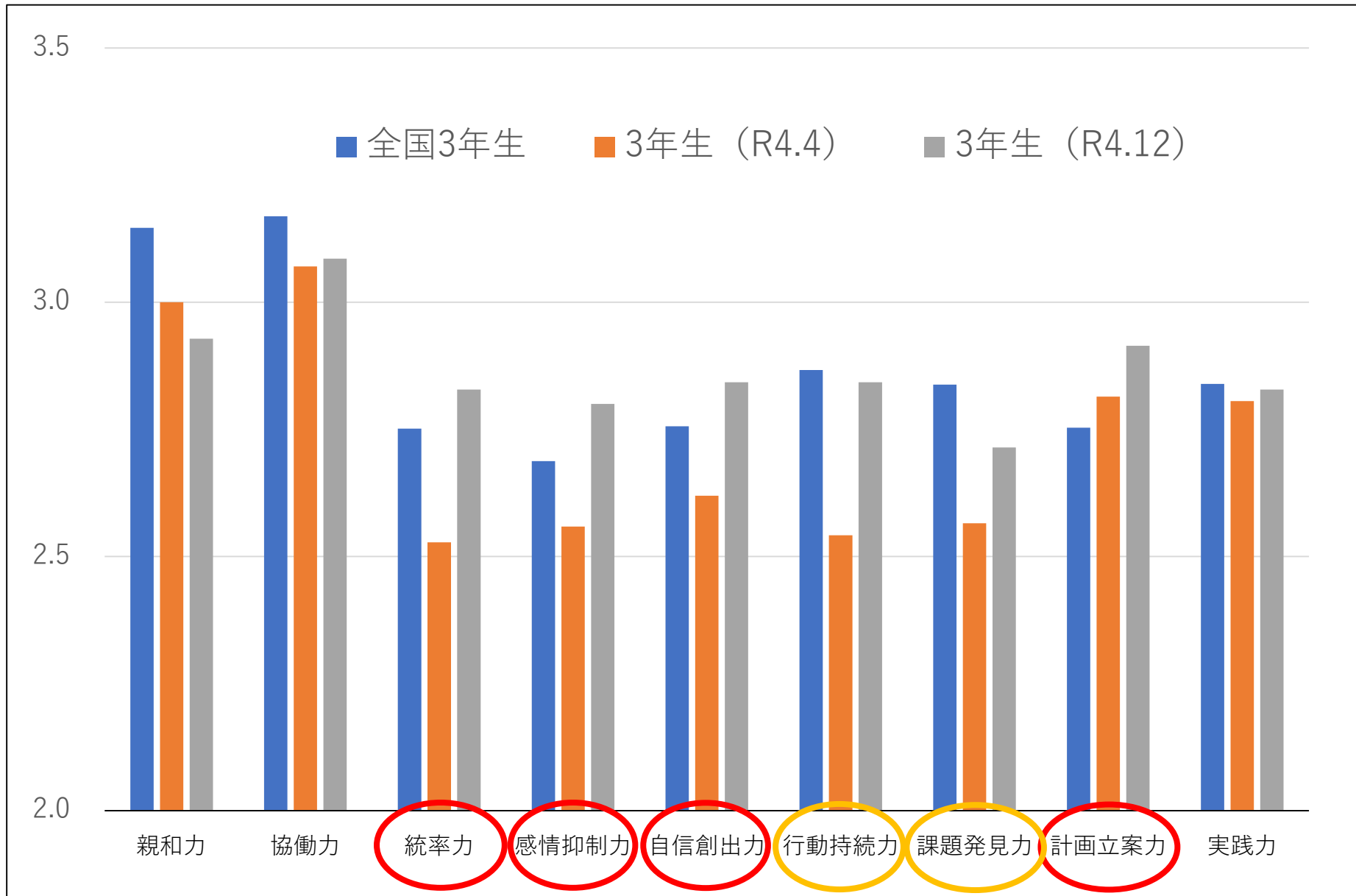
1年生のコンピテンシー（R5年4月）



2年生のコンピテンシー（R4年4月・R5年4月）



3年生のコンピテンシー (R4年4月・R5年4月・R5年12月)



(参考) 昨年度3年生のコンピテンシー (R4年4月・R4年12月)



リテラシーとコンピテンシーのバランス

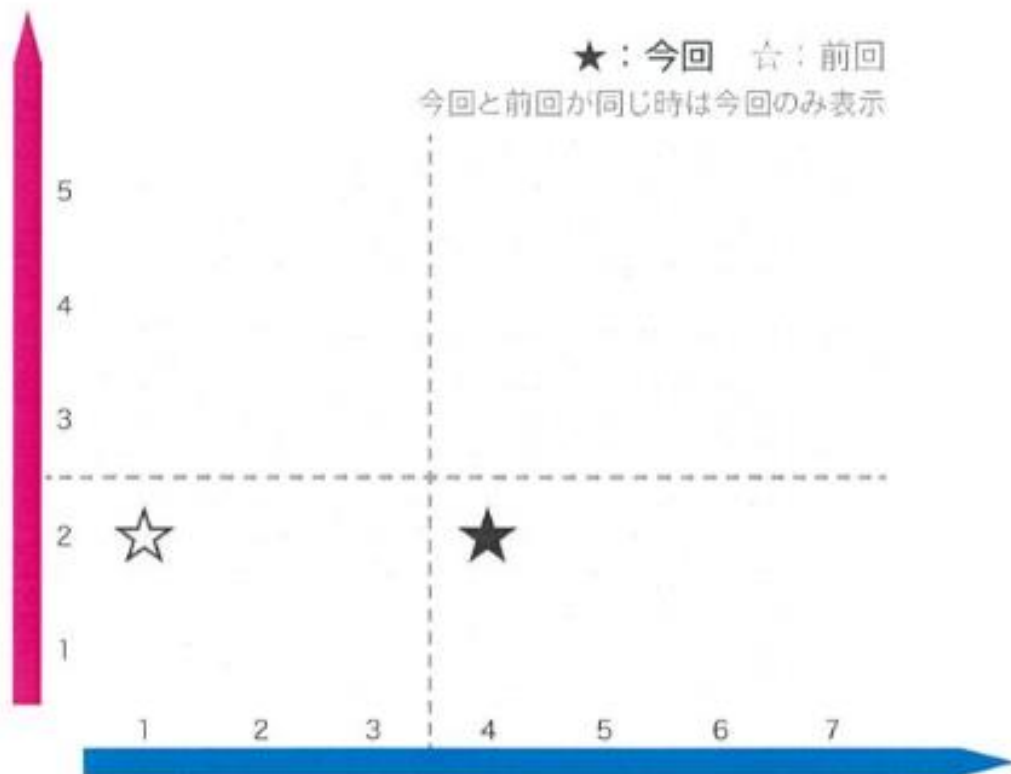
多様な個性を持った人との
協働・主体性発掘

コンピテンシー

LEVEL
2/5

[前は LEVEL2 でした]

※解答項目に不備があった
場合は「1」になります。



問題解決のために考え、判断し、表現する

リテラシー

LEVEL
4/7

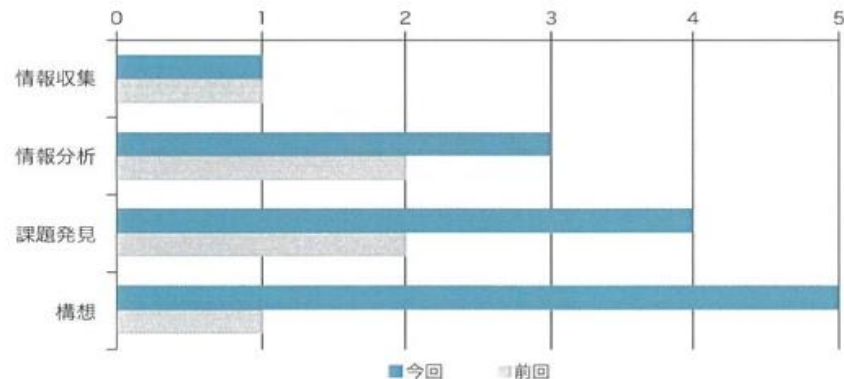


[前は LEVEL1 でした]

2

リテラシーを構成する4つの力

リテラシーとは、知識を活用して問題を解決する力のこと。社会に出ると正解がひとつではないさまざまな問題に直面し、解決することを求められます。そのためには「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」という4つの力が必要です。



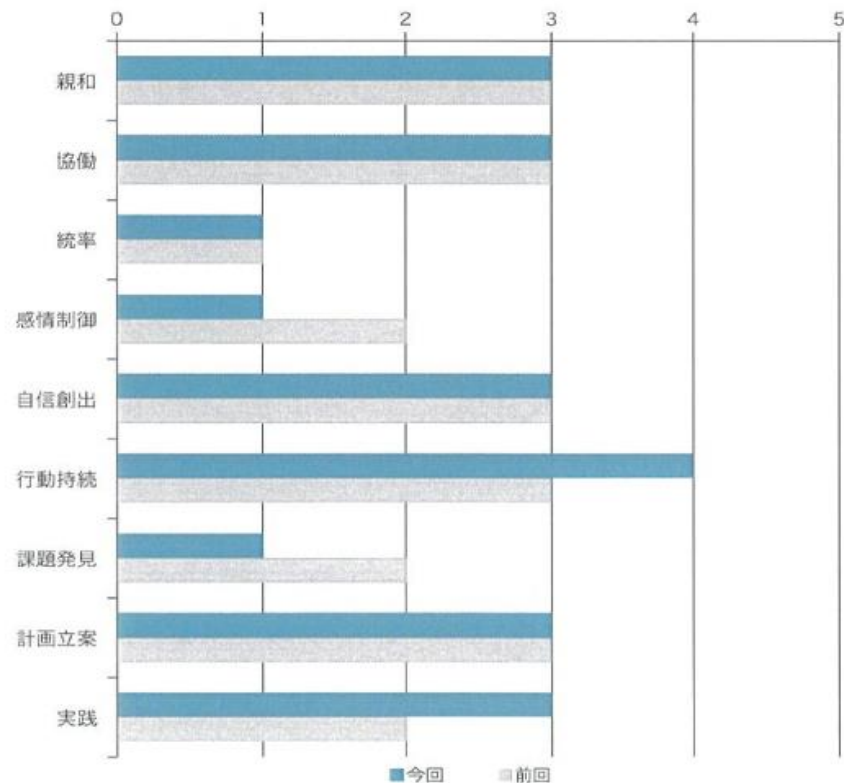
3

コンピテンシーを構成する9つの力

コンピテンシーとは、人と自分に最適な状態をもたらそうとする力のこと。人と関わる力、自分をコントロールする力、課題に向かう力の3つに分けられています。どれも3つの力で構成されており、自分を取り巻く環境に実践的に対処するためには全部で9つの力が必要になります。



※解答項目に不備があった場合は「1*」になります。





リテラシーとコンピテンシーのバランス

多様な個性を持った人との
協働・主体性発掘

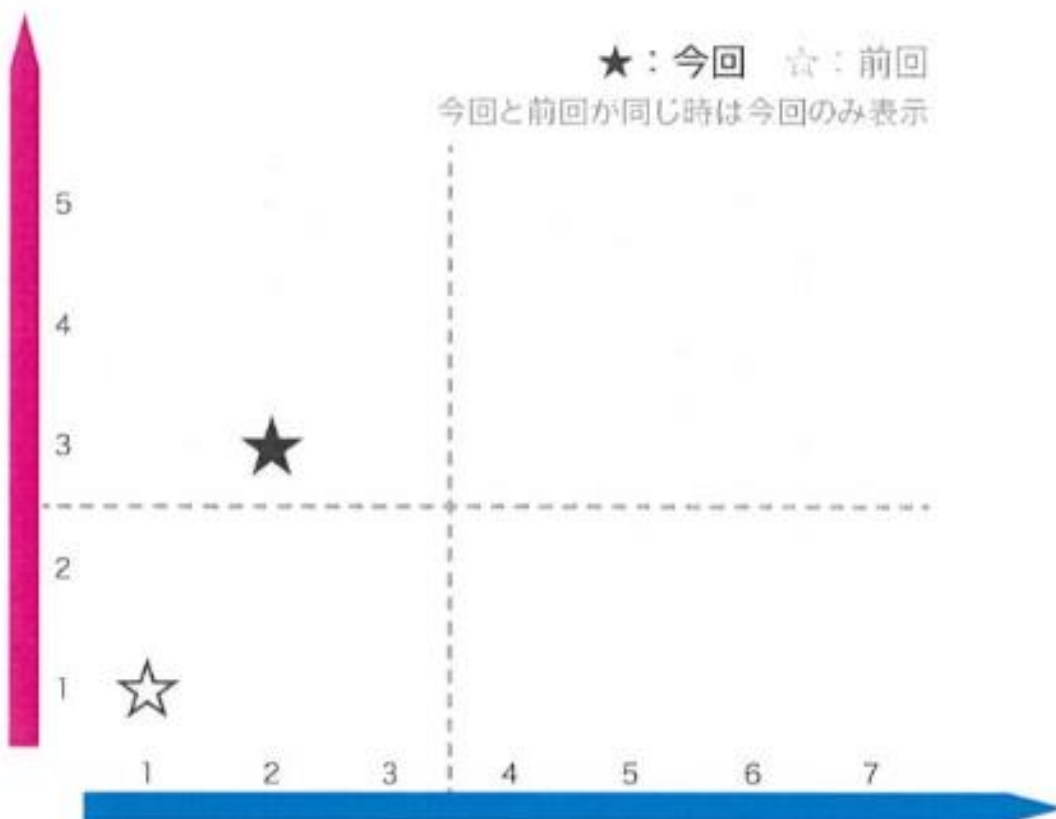
コンピテンシー

LEVEL
3/5

UP

[前回は LEVEL1 でした]

※解答項目に不備があった
場合は「1」になります。



問題解決のために考え、判断し、表現する

リテラシー

LEVEL
2/7

UP

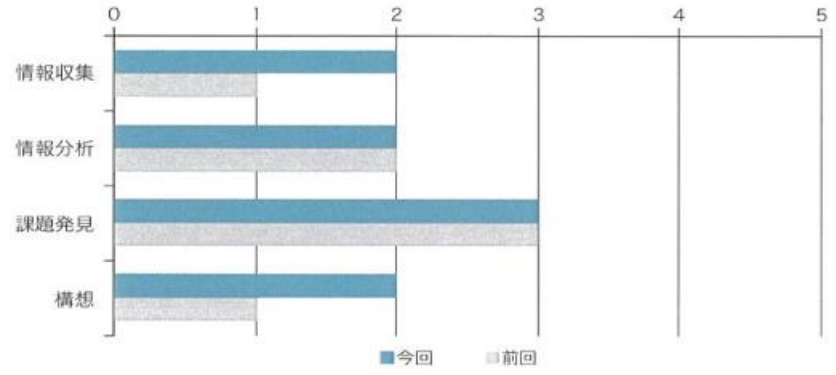
[前回は LEVEL1 でした]

2

リテラシーを構成する4つの力

リテラシーとは、知識を活用して問題を解決する力のこと。社会に出ると正解がひとつではないさまざまな問題に直面し、解決することを求められます。そのためには「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」という4つの力が必要です。

情報収集力	2 前回 1	幅広い視点から確かな情報を収集する力
情報分析力	2 前回 2	情報を客観的に分析し現状を正確に把握する力
課題発見力	3 前回 3	合理的・論理的に思考をめぐらせ課題を見つけ出す力
構想力	2 前回 1	課題解決の実行にむけてプロセスを計画する力



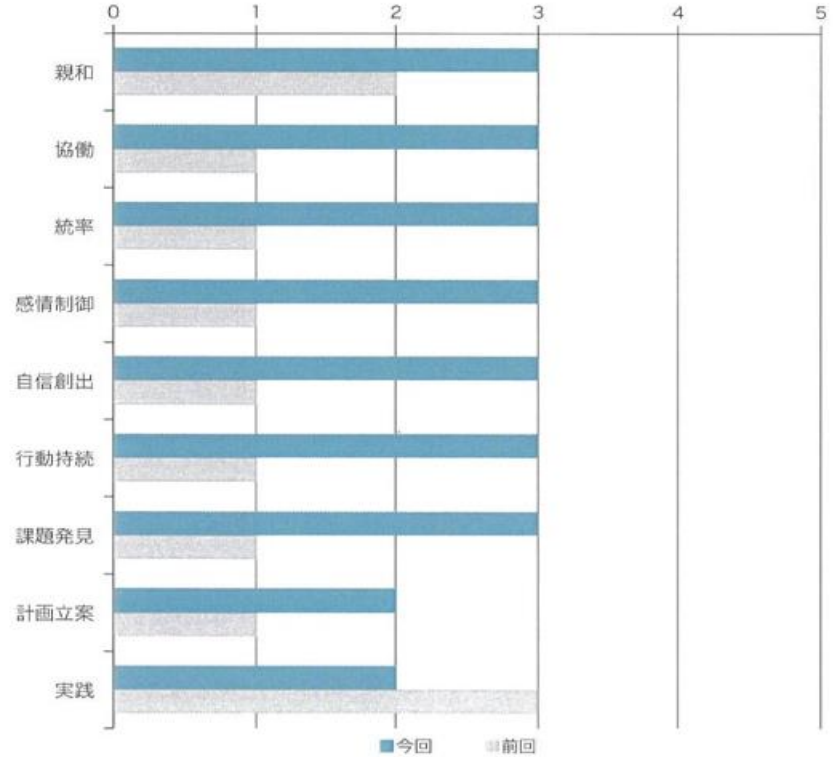
3

コンピテンシーを構成する9つの力

コンピテンシーとは、人と自分に最適な状態をもたらそうとする力のこと。人と関わる力、自分をコントロールする力、課題に向かう力の3つに分けられています。どれも3つの力で構成されており、自分を取り巻く環境に実践的に対処するためには全部で9つの力が必要になります。

対人基礎力	3 前回 1	親和力	3 前回 2	仲間と信頼関係を築く力
		協働力	3 前回 1	協力的に課題に取り組む力
		統率力	3 前回 1	議論を建設的に進めていく力
対自己基礎力	3 前回 1	感情制御力	3 前回 1	自分の気持ちをコントロールする力
		自信創出力	3 前回 1	自分に自信を持ち向上させようとする力
		行動持続力	3 前回 1	最後まで粘り強く責任を持って取り組む力
対課題基礎力	2 前回 1	課題発見力	3 前回 1	解決すべき課題を発見する力
		計画立案力	2 前回 1	解決のために効果的な計画を立てる力
		実践力	2 前回 3	解決に向けて自ら行動する力

※解答項目に不備があった場合は「1*」になります。





リテラシーとコンピテンシーのバランス

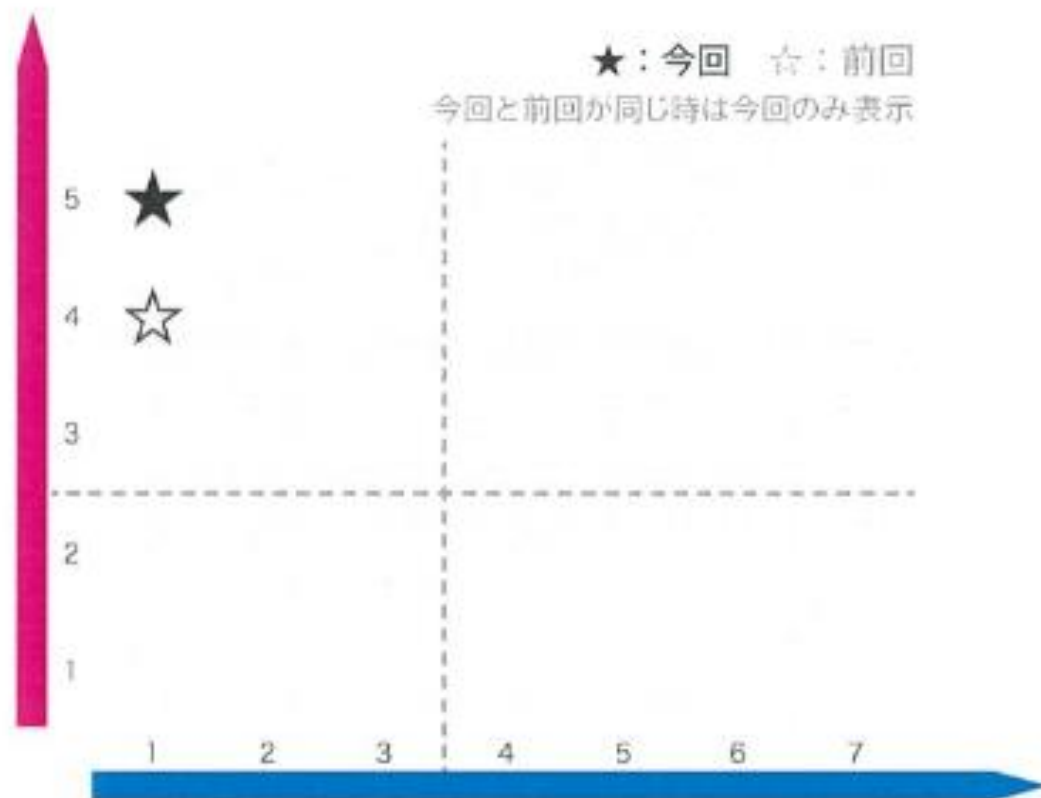
多様な個性を持った人との
協働・主体性発掘

コンピテンシー



[前回は LEVEL4でした]

※解答項目に不備があった
場合は「1*」になります。



問題解決のために考え、判断し、表現する

リテラシー

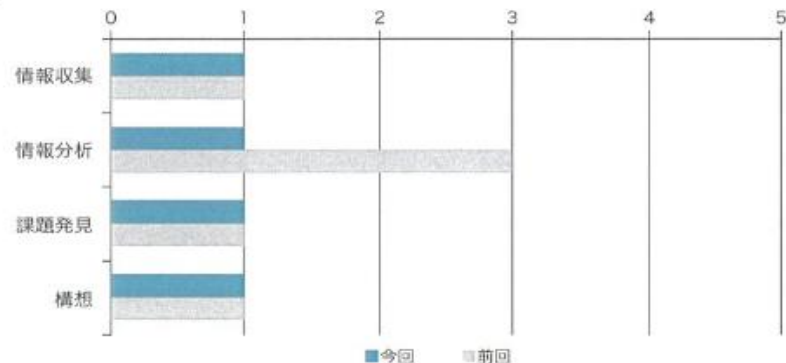


[前回は LEVEL1でした]

2 リテラシーを構成する4つの力

リテラシーとは、知識を活用して問題を解決する力のこと。社会に出ると正解がひとつではないさまざまな問題に直面し、解決することを求められます。そのためには「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」という4つの力が必要です。

情報収集力	1 前回 1	幅広い視点から確かな情報を収集する力
情報分析力	1 前回 3	情報を客観的に分析し現状を正確に把握する力
課題発見力	1 前回 1	合理的・論理的に思考をめぐらせ課題を見つけ出す力
構想力	1 前回 1	課題解決の実行にむけてプロセスを計画する力

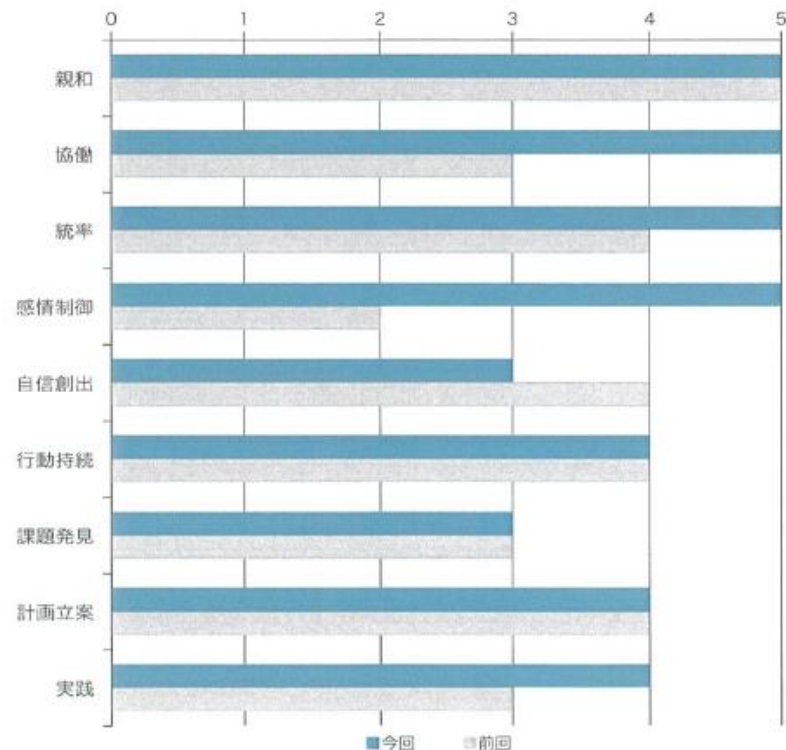


3 コンピテンシーを構成する9つの力

コンピテンシーとは、人と自分にベストな状態をもたらそうとする力のこと。人と関わる力、自分をコントロールする力、課題に向かう力の3つに分けられています。どれも3つの力で構成されており、自分を取り巻く環境に実践的に対処するためには全部で9つの力が必要になります。

対人基礎力	5 前回 5	親和力	5 前回 5	仲間と信頼関係を築く力
		協働力	5 前回 3	協力的に課題に取り組む力
		統率力	5 前回 4	議論を建設的に進めていく力
対自己基礎力	4 前回 4	感情制御力	5 前回 2	自分の気持ちをコントロールする力
		自信創出力	3 前回 4	自分に自信を持ち向上させようとする力
		行動持続力	4 前回 4	最後まで粘り強く責任を持って取り組む力
対課題基礎力	4 前回 3	課題発見力	3 前回 3	解決すべき課題を発見する力
		計画立案力	4 前回 4	解決のために効果的な計画を立てる力
		実践力	4 前回 3	解決に向けて自ら行動する力

※解答項目に不備があった場合は「1」になります。





リテラシーとコンピテンシーのバランス

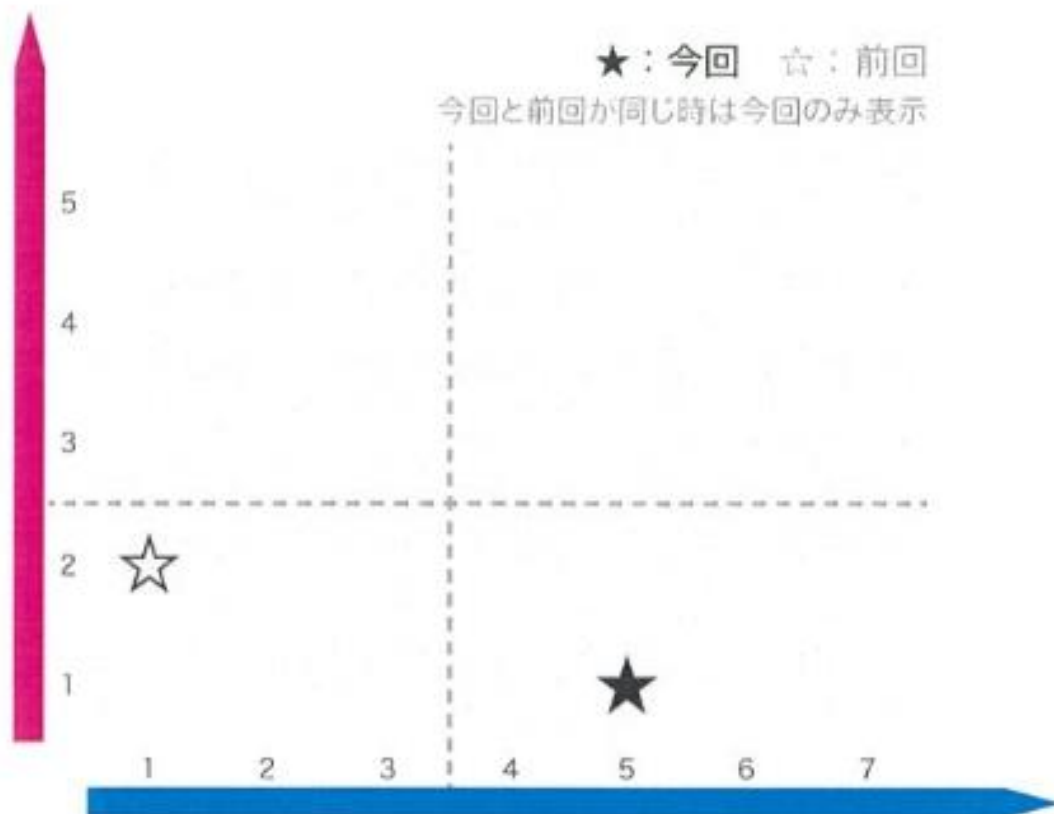
多様な個性を持った人との
協働・主体性発掘

コンピテンシー

LEVEL
1 / 5

[前は LEVEL2 でした]

※ 解答項目に不備があった
場合は「1」になります。



★：今回 ☆：前回

今回と前回が同じ時は今回のみ表示

問題解決のために考え、判断し、表現する

リテラシー

LEVEL
5 / 7

UP

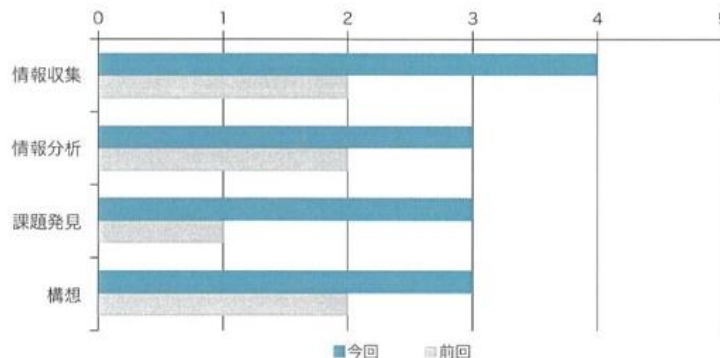
[前は LEVEL1 でした]

2

リテラシーを構成する4つの力

リテラシーとは、知識を活用して問題を解決する力のこと。社会に出ると正解がひとつではないさまざまな問題に直面し、解決することを求められます。そのためには「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」という4つの力が必要です。

情報収集力	4	幅広い視点から確かな情報を収集する力
前回	2	
情報分析力	3	情報を客観的に分析し現状を正確に把握する力
前回	2	
課題発見力	3	合理的・論理的に思考をめぐらせ課題を見つけ出す力
前回	1	
構想力	3	課題解決の実行にむけてプロセスを計画する力
前回	2	



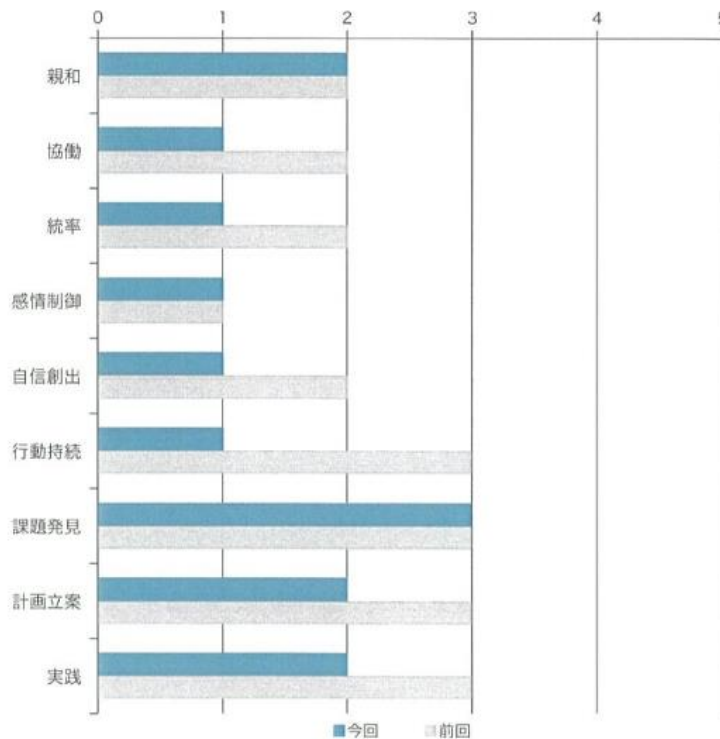
3

コンピテンシーを構成する9つの力

コンピテンシーとは、人と自分にベストな状態をもたらそうとする力のこと。人と関わる力、自分をコントロールする力、課題に向かう力の3つに分けられています。どれも3つの力で構成されており、自分を取り巻く環境に実践的に対処するためには全部で9つの力が必要になります。

対人基礎力	1	親和力	2	仲間と信頼関係を築く力
		前回	2	
		協働力	1	協力的に課題に取り組む力
対自己基礎力	1	統率力	1	議論を建設的に進めていく力
		前回	2	
		感情制御力	1	自分の気持ちをコントロールする力
対課題基礎力	2	自信創出力	1	自分に自信を持ち向上させようとする力
		前回	2	
		行動持続力	1	最後まで粘り強く責任を持って取り組む力
対課題基礎力	2	課題発見力	3	解決すべき課題を発見する力
		前回	3	
		計画立案力	2	解決のために効果的な計画を立てる力
対課題基礎力	2	実践力	2	解決に向けて自ら行動する力
		前回	3	

※解答項目に不備があった場合は「1」になります。



「マイスター・ハイスクール自己評価」による 具体的に身についた知識・技術・態度の確認

以下の質問に対して、自分の「現状」に当てはまる選択肢の番号を○で囲んでください。

質問項目		あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	ややあてはまらない	あてはまらない
	1 ICT(PC・タブレット・スマホ等を使った情報処理と通信技術)の知識や技術の習得に積極的に取り組みたい	5	4	3	2	1
ICT活用	2 効率的に仕事をしたり新しい仕事を生み出したりするためのICTの活用方法を知っている	5	4	3	2	1
	3 普段からICTを活用して、学習や趣味、友人家族との連絡などを効率化している	5	4	3	2	1
	4 ICTを活用すれば、地方にいても収益性の高い(もうかる)仕事をつくれると思う	5	4	3	2	1
	5 糸魚川市の産業や観光、伝統文化、ジオパークとしての特徴などを知っている	5	4	3	2	1
地域理解と 6次産業化 観光誘客	6 他の地域と比較したときの糸魚川市の強みや弱みを自分なりに答えられる	5	4	3	2	1
	7 糸魚川市の水産業や海洋関連産業の概要や特徴を知っている	5	4	3	2	1
	8 6次産業の生産から販売までの具体的な仕事のイメージができる	5	4	3	2	1
	9 6次産業化により、企業が収益性の高い仕事をつくれると思う	5	4	3	2	1
	10 糸魚川市に観光客を呼び込む方法について知っている	5	4	3	2	1
	11 企画したイベントにおける参加者や観客の完全管理について考えられる	5	4	3	2	1
	12 糸魚川のみならず、自分が今後住む土地の強みや弱みについて考え、地域活性化に関わりたいと思う	5	4	3	2	1
新潟海洋高校 アンテナショップ の活用	13 人口減少の時代において、顧客に自社商品のファンになってもらうことが必要だと思う	5	4	3	2	1
	14 商品購入から商品消費に至るまでの顧客体験(顧客満足度)を向上させるためのICTの活用方法を知っている	5	4	3	2	1
	15 店舗やイベント販売(オンライン販売を含む)に集客する方法を知っている	5	4	3	2	1
	16 商品やサービスの開発から販売(オンライン販売含む)に至るまでの流れと利益が生まれるしくみを理解している	5	4	3	2	1
	17 店舗やイベント販売で顧客と直接コミュニケーションすることが好きだ	5	4	3	2	1
	18 アンテナショップ(オンライン販売やオンラインイベントを含む)で、学習成果を活かすような活動をしてみたい	5	4	3	2	1
	19 新潟県立海洋高等学校で学習できて良かったと思う	5	4	3	2	1

※13～18は、アンテナショップでの学習経験の有無に関わらず、あなたの考えを回答してください。

「マイスター・ハイスクール自己評価」 結果

各質問項目の上段から

- ・ 令和4年 4月実施結果
- ・ 令和5年 1月実施結果 (令和5年度入学生は4月実施結果)
- ・ 令和5年12月実施結果

を示している。

質問項目	R5入学生	R4入学生	R3入学生	R2入学生	平均
ICT(PC・タブレット・スマホ等をつかった情報処理と通信技術)の知識や技術の習得に積極的に取り組みたい		4.1	3.6	4.0	3.9
	4.1	4.0	3.8	3.7	3.9
	4.0	4.3	3.9		4.1
効率的に仕事をしたり新しい価値を生み出したりするためのICTの活用方法を知っている		3.0	2.6	2.9	2.8
	2.8	3.8	3.0	2.9	3.1
	3.0	3.2	3.3		3.2
普段からICTを活用して、学習や趣味に活用したり、友人や家族との連絡などを効率化したりしている		3.9	3.6	3.8	3.8
	4.0	3.5	3.0	3.1	3.4
	4.0	3.0	3.1		3.4
ICTを活用すれば、地方にいても収益性の高い(もうかる)仕事をつくれると思う		3.9	3.5	3.1	3.5
	3.9	3.6	3.2	3.1	3.5
	3.9	3.9	3.9		3.9
平均		3.7	2.5	3.5	3.2
	3.7	3.7	3.3	3.2	3.5
	3.7	3.6	3.6		3.6
令和4年4月から令和5年1月の伸び率(%)		0.0	24.2	-7.8	16.4
令和5年1月(R5入学生は4月)から令和5年12月の伸び率(%)	0.0	-2.8	8.3		5.6

質問項目	R5入学生	R4入学生	R3入学生	R2入学生	平均
糸魚川市の産業や観光、伝統文化、ジオパークとしての特徴などを知っている		3.1	2.7	2.9	2.9
	3.0	3.5	3.2	3.2	3.2
	3.3	3.7	3.1		3.4
他の地域と比較したときの糸魚川市の強みや弱みを自分なりに答えられる		3.2	2.7	3.2	3.0
	2.8	3.8	3.1	3.3	3.3
	3.2	3.7	3.2		3.4
糸魚川市の水産業や海洋関連産業の概要や特徴を知っている		3.0	2.8	3.0	2.9
	2.9	3.2	2.9	2.9	3.0
	3.1	3.7	3.0		3.3
6次産業の生産から販売までの具体的な仕事のイメージができる		3.1	3.0	3.5	3.2
	3.1	3.2	3.2	2.9	3.1
	3.0	3.7	3.3		3.3
6次産業化により収益性の高い仕事を作れると思う		3.6	3.2	3.5	3.4
	2.5	3.5	3.4	3.1	3.1
	3.4	3.8	3.3		3.5
糸魚川市に観光顧客を呼び込む方法について知っている		2.8	2.6	2.9	2.8
	2.8	4.0	3.8	3.5	3.5
	2.6	3.0	2.9		2.8
企画したイベントにおける参加者や観客の完全管理について考えられる		2.8	2.9	3.0	2.9
	3.7	3.3	3.1	3.1	3.3
	3.0	3.2	3.1		3.1
糸魚川のみならず、自分が今後住む土地の強みや弱みについて考え、地域活性化に関わりたいと思う		3.6	3.3	3.3	3.4
	4.1	3.4	3.2	3.1	3.5
	3.5	3.5	3.1		3.4
平均		3.2	2.9	3.2	3.1
	3.1	3.5	3.2	3.1	3.2
	3.1	3.5	3.1		3.2
令和4年4月から令和5年1月の伸び率(%)		8.6	9.4	-3.2	14.7
令和5年1月(R5入学生は4月)から令和5年12月の伸び率(%)	0.0	0.0	-3.1		-3.1

質問項目	R5入学生	R4入学生	R3入学生	R2入学生	平均
人口減少の時代において、顧客に自社商品のファンになっても らう必要がある		3.9	3.5	3.8	3.7
	2.8	4.0	3.8	3.5	3.5
	3.9	3.9	3.6		3.8
商品購入から商品消費に至るまでの顧客体験（顧客満足度）を 向上させるためのICT活用方法を知っている		3.0	2.7	2.9	2.9
	2.9	3.3	3.1	3.1	3.1
	2.8	3.0	3.1		3.0
店舗やイベント販売（オンライン販売含む）に集客する方法を 知っている		3.0	2.7	3.1	2.9
	3.3	3.4	3.2	3.2	3.3
	3.0	3.4	3.2		3.2
商品やサービス開発から販売（オンライン販売含む）に至るま での流れと利益が生まれるしくみを理解している		3.0	2.9	3.1	3.0
	3.4	3.5	3.2	3.2	3.3
	3.1	3.4	3.3		3.3
店舗やイベント販売で顧客と直接コミュニケーションすること が好きだ		3.3	3.0	3.3	3.2
	3.8	3.4	3.1	3.1	3.4
	3.4	3.3	3.2		3.3
アンテナショップ（オンライン販売やオンラインイベントを含 む）で、学習成果を生かすような活動をしてみたい		3.6	3.2	3.3	3.4
	4.3	3.5	3.4	3.1	3.6
	4.1	3.9	3.7		3.9
平均		3.3	3.0	3.3	3.2
	3.4	3.5	3.3	3.2	3.4
	3.4	3.5	3.4		3.4
令和4年4月から令和5年1月の伸び率(%)		6.1	10.0	-3.0	13.0
令和5年1月(R5入学生は4月)から令和5年12月の伸び率(%)	0.0	0.0	3.0		3.0

マイスター・ハイスクール自己評価 最後の質問への回答結果

新潟県立海洋高等学校で学習できて良かったと思う		4.4	3.9	3.9	4.1
	4.3	4.2	3.7	3.8	4.0
	4.1	3.9	3.7		3.9
令和4年4月から令和5年1月の伸び率(%)		-4.5	-5.1	-2.6	-12.2
令和5年1月(R5入学生は4月)から令和5年12月の伸び率(%)	-4.7	-7.1	0.0		-11.8

「未来を担う海洋・水産プロフェッショナル
人材育成システムの構築」

未来を担う

第四次産業革命／地方創生

➔ ICT活用によるDXと6次産業化に資する
基本的な知識・技術・態度を身に付けさせる
ことができた。

海洋・水産プロフェッショナル

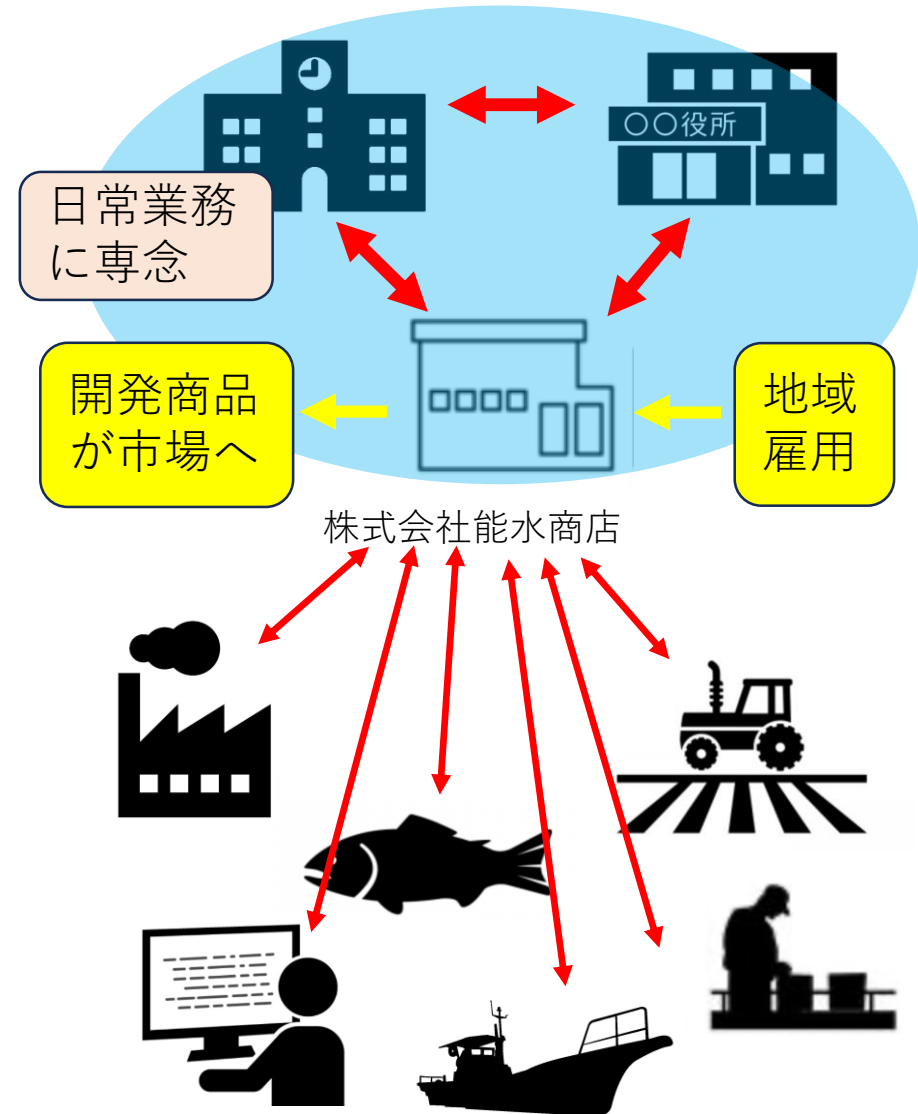
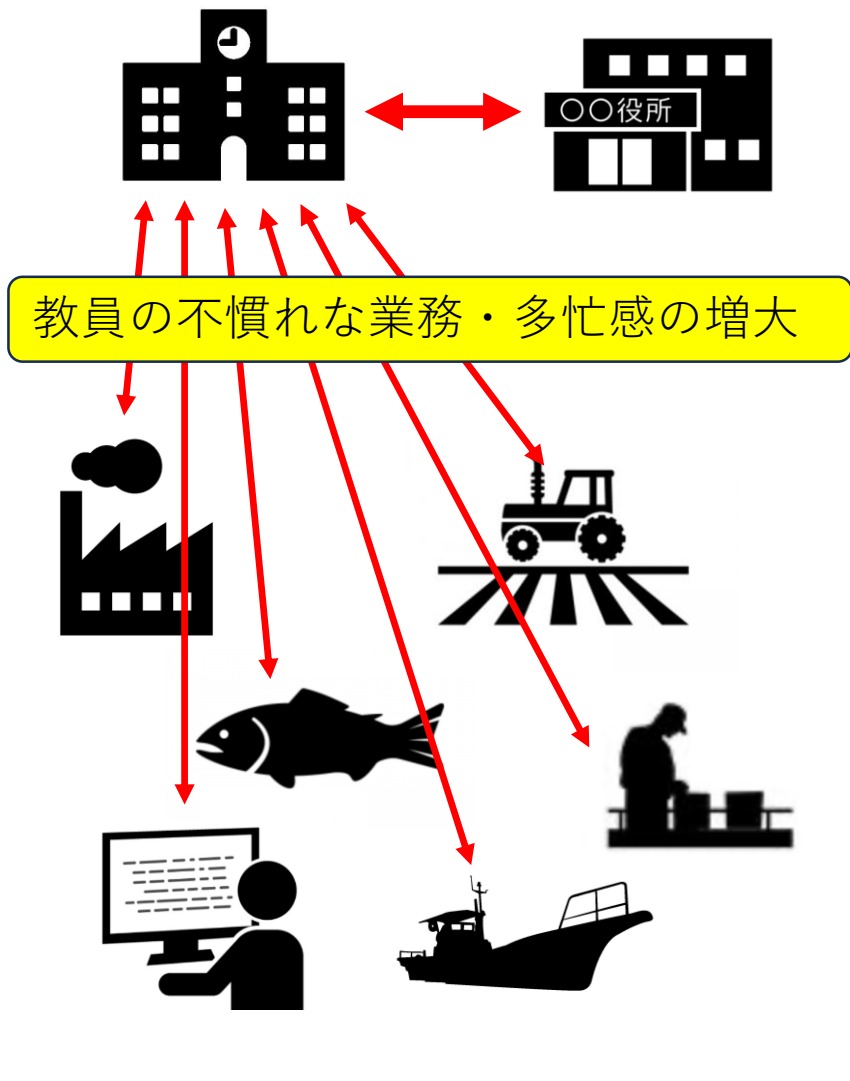
「糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

農林水産業従事者所得の確保向上と若者にとって
魅力ある雇用の場の創出

- ➡ 専門的な知識・技術に基づいて地域及び
関連産業における課題解決ができる
リテラシーとコンピテンシーの高い職業人
育成の基盤が作ることができた。

人材育成システムの構築

産学官連携による実践的な学習機会づくりが確立した



今後も継続的に取り組むべき課題

- 生徒の資質・能力を高めるための、産学官連携による**カリキュラム提供**とその効果検証。
- **カリキュラム提供者としての教員**に求められる資質・能力の向上。
- **教員同士、教員-生徒間、生徒同士**で対話が行われる学校文化づくり。